

平成 28 年度 学校法人藤枝学園事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日至 平成 29 年 3 月 31 日

I 学校法人の概要

1 目的

学校法人藤枝学園は、教育基本法及び学校教育法に従い、仏教の教義に基づき学校教育を行う。

2 設置学校及び生徒園児在籍状況

(1) 設置学校

ア 藤枝順心高等学校

全日制課程、普通科、調理栄養科（調理師養成課程）、美術造形デザイン科

イ 藤枝明誠高等学校

全日制課程、普通科、英数科

ウ 藤枝順心中学校

エ 藤枝明誠中学校

オ 藤枝順心高等学校附属幼稚園

(2) 生徒園児在籍状況（平成 28 年 5 月 1 日現在）

学 校 名	在 籍 合 計 (人)
藤枝順心高等学校	5 3 2
藤枝明誠高等学校	8 5 3
藤枝順心中学校	3 9
藤枝明誠中学校	1 1 5
藤枝順心高等学校附属幼稚園	2 8 3
学校法人計	1, 8 2 2

3 役員・教職員の状況

(1) 役員（平成 29 年 3 月 31 日現在）

理事 7 人

理事長 仲田晃弘

理事 戸田雪子

理事 萩原昌明

理事 時田鉦平

理事 青島克郎

理事 仲田 務

理事 松田真彦

監事 3人

監事 畑 正規

監事 勝澤 要

監事 加藤友夫

(2) 役員会開催状況

ア 平成28年 5月30日 (月)

イ 平成28年10月30日 (月)

ウ 平成29年 1月24日 (火)

エ 平成29年 3月17日 (金)

(3) 教職員の状況 (平成27年4月1日現在)

区 分	人 員	備 考
管理職	9人	教育職7 事務職2
幼稚園・中学校・高等学校教員	107人	除 教育職管理職員7人
非常勤講師	68人	
事務職員	19人	除 事務職管理職員2名
非常勤事務職員	8人	
合 計	211人	

II 事業概要

1 平成28年度経営方針

学園創立の精神である仏典修証義「第4章発願利生」の一節にある「自未得度先度他」の教えを基軸として、藤枝順心中学校・高等学校、藤枝明誠中学校・高等学校、藤枝順心高等学校附属幼稚園がそれぞれの特性を十分発揮することにより、地域に密着し、地域に愛され認められる教育活動を展開するよう取り組む。

藤枝順心中学校・高等学校においては、校訓である「自覚」を、人として備えるべき条件、あるいは資格、そして、自立するための学びであり、常に忘れず、怠らず励むこととして目指し、「梅、寒苦を経て清香を発す」という白梅精神「清楚・芳香・忍耐」を教育目標に掲げて、「女性の自律・自主と先度他の心の涵養」を願いとして女子教育に取り組む。

藤枝明誠中学校・高等学校においては、校訓を「初心忘るべからず」とし、初学の志、創建の心。学びの中道、物事の中途においては常に反省に立ち、初一念の振起につとめ、挫折することがあってはならない。また、教育目標を学園の綱領に基づく教育活動により、知・徳・体を錬成し調和のある人間像を確立するための教育に取り組む。

藤枝順心高等学校附属幼稚園においては、創立者の教育方針「強く、明るく」の精神を踏まえて、幼児一人一人の発達の特性に応じ、環境とかかわらせながら幼児教育にふさわしい生活体験を通じて、心身ともに健やかな成長発達を図ることを目指して教育活動を推進する。

教育目標を「豊かな心とたくましい体をもった子」として、思いやりのある子、がんばりのきく子、挨拶のできる子を育てる。そのため、以下を実践する。

- ・ 子どもの理解に努め、一人一人の発達特性や個に応じた指導をする。
- ・ 様々な経験を通して、環境への関心を高めていく保育を進める。
- ・ 社会の変化や地域の要請に応え、保護者との連携を密にして保育を進める。
- ・ 小学校教育との結びつきを図るため、地域の小学校との連携を進める。

2 各部門の事業概要

(1) 藤枝順心中学校

独自のカリキュラムに基づく6年一貫教育を展開し、豊かな感性と大人のマナーを身につけた女性のリーダーを育成した。6年間を3期に分け、中学1・2年は「基礎課程」、中学3年・高校1年は「集中の課程」、高校2・3年は「発展課程」と位置づけ、国公立大学進学を目指した。中学課程については、高校課程も取り入れながら、中学3年で終了した。音楽・美術・体育は6年間を見据え、中学課程・高校課程にとらわれず実施した。

また、総合的な学習の時間では、「エレガントプラン」とともに日本の伝統文化である「茶道」を取り入れ、知育にかたよらない教育活動を展開した。

ア 部活動の実績

柔道部

東海中学総体	女子個人の部	57kg級	優勝	百田 久佳 (J31)
全国中学総体	女子個人の部	70kg超級	優勝	米川 明穂 (J31)

バスケットボール部

中体連志太榛原地区大会	優勝
中体連県大会	3位

(2) 藤枝明誠中学校

教える者と教えられる者との相互信頼に基づき、高度に知徳体のバランスのとれた人格を形成し、国際化、情報化のフロントランナーとして、社会貢献、国際貢献できるフェアなリーダーを育成した。

教育課程の特色として、

- ・ 3年間の総授業時間数は、国の標準より630時間多く設定。
- ・ 国語、数学、英語を中心に週授業時間数を1～3時間増やし、基礎力の定着と応用力を育成。
- ・ 教科内容の指導では、個の伸張を図るため、必要に応じて、学級を横断し習熟度に合わせた指導を実施。

- ・知育偏重を避け、知・徳・体を、バランスよく体得した、豊かな人格を持つ生徒を育成する。そのために、学校行事等の特別活動や土曜カリキュラム等での内容の充実。

(3) 藤枝順心高等学校

ア 普通科

- ・ 情報ビジネス専攻

卒業後、経理及び事務関係の職場での活躍を目指す生徒を対象にしている。社会に出て即戦力となり働くことができるように、経理技術及び事務処理技術の習得や文書作成に必要な技術を身につけていくことを目指し、「日本商工会議所主催の簿記検定」「同会議所主催のPC検定」等を取得することを目標とした。また、企業のOA化に十分応じられるよう、最新コンピュータを導入し、エクセル・ワードを用いた教育プログラムを編成して取り組んだ。

2年次から①経理技術及び事務処理技術をより深める「ビジネス会計専攻」

②OA文書作成に必要な技術をより深める「ビジネス情報専攻」の二種類のクラスに分かれて専門的な授業を行った。

- ・ 大学進学専攻

大学への進学を目指し、普通科目の学力充実・強化に重点をおいたカリキュラムを組んだ。サマースタディマラソン（夏季休業中の講座）、センター試験対策講座や外部模試には全員参加し、学力の強化伸長に努めた。

- ・ クックラボ専攻

調理師免許取得を目的とせず、「食」について学び、西洋料理（製菓、製パンを含む）に特化した実習を積むことで、調理に関する高度な技術と知識を身に着けることを目指した。

イ 美術造形デザイン科

美術造形デザイン関係の資質のレベルアップを図り、将来実社会で通用するデザイナーや、工芸作家としての能力を養成することを目指した。専門教科のデッサン、ビジュアルデザイン、絵画実習、クラフトデザイン等の時間数を多くして科の独自性を発揮した。各種のコンクールに出品し、上位入賞を果たしている。

ウ 調理栄養科

1年生は、普通科目、食品学などの専門科目の基礎からスタートし、2年生はさらに教科を充実、3年生では、調理実習に重点をおいて、調理師免許証を取得できる実務的な教育を展開し卒業と同時に全員調理師免許証を取得した。また、文部科学省認定の食物調理技術検定1級の取得を目標とした。

エ 部活動の実績

コーラス部 第71回関東合唱コンクール「金賞」受賞

手工芸部 第64回静岡県高等学校総合文化祭 特選 岡村 萌（S35）

特選 井出智織（S25）

サッカー部

全国高等学校総合体育大会	優勝
全日本高校女子サッカー選手権全国大会	ベスト8
静岡県高校新人サッカー大会	優勝

柔道部

全国高校総体	女子個人の部	57kg級	出場	山上 春奈 (S21)
		78kg級	第2位	伊藤 七海 (S33)
全国高等学校柔道選手権大会	女子個人の部	52kg級	ベスト8	中村 愛香莉 (S14)
		57kg級	ベスト8	山上 春奈 (S21)
	女子団体の部		出場	

(4) 藤枝明誠高等学校

知・徳・体のバランスのとれた人間を育成し、次代のリーダーを育てることを教育の指針として、教育を展開した。

- ・知育では、国際化・情報化社会をリードする高い教養と感性を習得させる。
- ・徳育では、道徳心と正しい判断力を育成し、豊かな人間性と人格を養う。
- ・体育では、健やかな心身と夢やこころざし実現への強い精神力を養う。

ア 普通科

4年制大学を目指すコースである。部活動で活躍する生徒が多数いる。1学年では、週のうち2日は7時限授業とし、進学に対する教科指導を実施した。2～3学年では、学習と部活動を両立させる総合コース(週5日連日6時限、土曜日隔週3時限授業)と、さらに上位の大学を目指しながら、部活動にも打ち込める理数コース(文系と理系の類型別に月火木の3日間は7時限授業、土曜日隔週3時限授業)のクラス編成で授業を実施した。

平成25年度、グローバルな視点に立って行動できる人材の育成を設置目標にして、国際教養コースを新設した。

イ 英数科

全国有数の難関、国公立大学・私立大学を目指すコースとして、英語・数学を中心に学習内容の密度を濃くし、難関大学の入試に対応できる実力を養成した。

週5日連日7時限、土曜日隔週3時限授業を実施した。

ウ 部活動の実績

サッカー部

静岡県高等学校総合体育大会	県ベスト8
東海プリンスリーグ	3位
全国高校サッカー選手権大会静岡県大会	優勝
全国高校サッカー選手権大会	出場 1回戦敗退

陸上部

東海高校総体 男子 200m 3位 飯塚拓巳(3年)

全国高校総体 男子 200m 出場 飯塚拓巳(3年)

バスケットボール部

高校総体全国大会静岡県大会 3位

東海高校総体 ベスト 8

全国選抜優勝大会(ウインターカップ) 県大会 3位

硬式野球部

秋季県大会 2位 東海大会 出場(2年連続2回目) ベスト 8

柔道部

全国高校選手権県大会 73kg級 優勝 小笠原一貴(2年)

全国高校選手権大会 73kg級 ベスト 8 小笠原一貴(2年)

全日本カデ体重別選手権大会 73kg級 ベスト 4 小笠原一貴(2年)

射撃同好会

第71回国民体育大会(岩手国体) 少年男子1名 出場

棋道部

県高校将棋選手権大会 女子個人戦 優勝 天野愛美(3年)

男子団体戦 優勝

女子団体戦 優勝

全国高校将棋選手権大会 男子団体戦 3位

女子団体戦 5位

県高校将棋新人大会 男子個人戦 優勝 白井颯太(1年)

男子団体戦 優勝

全国高校将棋新人大会 男子個人戦 出場 白井颯太(1年)

(5) 藤枝順心高等学校附属幼稚園

「健康」 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を送ろうとする態度を育てた。

- ・戸外で伸び伸びと体を動かしたり、園外保育で歩いたりしたことで、体力向上を図った。
- ・幼児の遊びに配慮した環境整備を進めた。
- ・他の幼児とのかかわりの中で、安全な生活に必要な習慣を身につけさせた。

「人間関係」 他の人々と親しみを持って生活する中、自立心を育て、人とのかかわり合う力を養った。

- ・幼児期にふさわしい道徳性の芽生えを培う指導を充実した。
- ・一人一人を生かした集団を作りながら、人とのかかわる力を育てた。
- ・幼児が「自分が大切にされている」と実感できるような接し方に心がけ、人に対する信頼感や思いやりの気持ちを養った。

- ・様々な人々と交流し、人とかかわる楽しさや人の役に立つ喜びを味わえるようにした。

「言葉」 自分の思いを言葉で表現しようとしたり、相手の話す言葉を聞こうとしたりする態度を育て、言葉に対する感覚や言葉による表現力を養った。

- ・ゆとりを持って幼児の話聞くことにより、言葉で伝える喜びを味わえるようにした。
- ・絵本等を通して文字に触れる機会を設け、文字に対する興味や関心を持つようにした。

「表現」 感じたことや考えたことを様々な方法で表現することにより、豊かな感性や表現力を養った。

- ・描いたり歌ったりすることを通して、豊かな感性と表現力を育てた。
- ・幼児がいろいろな方法で表現することを楽しめるように支援した。

「環境」 周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持ち、知ろうとしたりかかわりを深めたりしようとする態度を養った。

- ・身近な動植物に親しみを持って接し、命の尊さに気付き、いたわったり大切にしたりしようとする心を育てた。
- ・周囲の事象に接する幼児の感動や驚きに保育者が共感し、自然への興味や関心を育てた。

◎ 預かり保育

保護者（母親）が働くなどの理由で、家庭の保育が出来ない園児を、保育時間の前後や長期休業中に保育した。